



# 大日本史と光圀

光圀が隠居後に「大日本史」の編纂を続けた西山荘(常陸太田市)。静かなたたずまいから、当時の光圀に思いをはせることができる  
徳川ミュージアム所蔵 ©徳川ミュージアム・イメージアーカイブ / DNPartcom

**250年継続した光圀の思い**  
初代水戸藩主である徳川頼房の三男として生まれた光圀(1628〜1700年)は、18歳のとき、中国の歴史家である司馬遷がまとめた『史記』を読んで感銘を受け、日本の歴史書をつくる、という思いを固めたと言われています。

光圀がまだ藩主となる前の1657(明暦3)年、歴史書を編さんするための史局を江戸、駒込邸に開設して始めた事業は、江戸小石川にあった水戸藩邸に史局を移し「彰考館」と名付けてから本格化しています。藩主となった光圀は「大日本史」編さんのために全国から多くの学者を「彰考館」に集めるとともに、京都や奈良、そして各地に史局員を派遣して史料の収集を行っています。また、正確に事実を究明して記述することによって、歴史の意味は明らかにするので、煩雑な作業もいとわずに記載するようにと命じ、引用史料を注記するなど現代の歴史編さんに先駆ける内容となっています。

藩主を綱條に譲り隠居した光圀は、その後も常陸太田市にある西山荘において「大日本史」の編纂を続けていきます。光圀が亡くなった後もこの事業は水戸藩によって続けられ、全体が完成したのは1906(明治39)年。実に約250年の歳月をかけて、全397巻に目録5巻を加えた計402巻の壮大な「大日本史」が完了したので

## 徳川光圀によって始められ、約250年の歳月を経て完成した大歴史書。

徳川光圀が編さんを指示した『大日本史』は、多くの人たちに受け継がれ、明治39年に全てが完成するという、実に壮大な過程を経て完結した歴史書です。これまでの日本の歴史をまとめ上げ、のちの歴史学や幕末の尊王思想にも影響を与えた大歴史書と、その完成を夢見た光圀の思いを解き明かします。

表紙:西山荘(常陸太田市)  
表紙撮影:青柳健二

**茨城空港発着 沖縄ツアー**  
IBARAKI → Okinawa  
今年の夏休みは、おトク＆便利なバックツアーでリゾート沖縄へ。

夢のリゾートパッケージがここに。

**那覇行きパッケージツアー**  
(那覇2泊3日)  
**27,800円〜**

→ ツアー情報の詳細は、茨城空港 協議会

**宮古島行きパッケージツアー**  
(宮古2泊3日)  
**34,800円〜**

**石垣島行きパッケージツアー**  
(石垣2泊3日)  
**36,800円〜**

ツアーのお問い合わせ・お申し込みは下記の各社まで!

<b>茨城発スカイマーク格安ツアー</b> → 名鉄観光 スカイマーク ☎ 03-5759-8400	<b>スカイマークで行く! 絶対お得なフリープラン</b> → 日本空輸 (GOOD TRIP EXPRESS) ☎ 0120-158-258
<b>スカイマークで行く! スカイステーション</b> → スカイバックツアーズ ☎ 0120-963-357 (茨城エリア専用ダイヤル) 03-5821-3366 (予約センター)	<b>茨城空港利用! フリープラン</b> → 阪急交通社 ☎ 03-6745-1366
<b>茨城発 スカイマークフェア!</b> → テイクエスト ☎ 0120-984-557	<small>※宮古・石垣行きのツアーは、名鉄観光・日本空輸・スカイバックツアーズ・阪急交通社での販売となっております。</small> <small>※予約チェックなら、出発前日15時まで受けOK!</small>

※上記ツアーの料金は各社によって異なります。あらかじめご了承ください。

Flight Schedule (2013.7.1 ~)

茨城 → 那覇	new 7.10 ~ 那覇乗り継ぎで離島へも便利!
SKY 11:10 → 14:15	SKY 11:10 → 17:00
那覇 → 茨城	SKY 11:10 → 17:30
SKY 14:50 → 17:25	SKY 11:35 → 17:25

※上記運航ダイヤ・ツアー料金は、変更される場合もございますので事前にご確認ください。(6月1日現在)





250年の歳月をかけ完成した「大日本史」は計402巻からなる壮大なる歴史書  
徳川ミュージアム所蔵 ©徳川ミュージアム・イメージアーカイブ/DNPpartcom



水戸市立第二中学校前にある「大日本史編纂之地」石碑と、格さんのモデルと言われる水戸藩出身で「大日本史」の編さんにも携わり、彰考館総裁も努めた安積澹泊(あせかたんぱく)の石像  
Photo:Takehiko Maekawa



※西山荘では、2013年7月～2014年12月まで御殿の災害復旧工事を行います。御殿全体に工事用の素屋根が掛かりますが、窓から伝統と最先端技術を用いた文化財修復の様子を見ることができます。またとない機会にぜひ西山荘へお立ち寄りください。

**徳川ミュージアム**  
茨城県水戸市見川1-1215-1  
TEL.029-241-2721  
開館時間/10:00～16:00  
入館料/大人1,155円、小中学生840円(系譜付き)、未就学児は無料  
<http://tokugawa.gr.jp>

**西山荘**  
茨城県常陸太田市新宿町590  
TEL.0294-72-1538  
開荘時間/9:00～16:00  
入荘料/大人735円、小中学生525円(解説書付き)、未就学児は無料  
<http://tokugawa.gr.jp>

## 大日本史と光圀



光圀の若き頃を描いた光圀肖像画  
立原杏所(たちばらきょうじょ)筆  
茨城県立歴史館所蔵

### 歴史に大きな影響を与えた編さん事業

「大日本史」より以前の歴史書は「日本書紀」を始めとして編年体(歴史記述の形式で年代順に記述するもの)で書かれていましたが、光圀は「史記」と同じく紀伝体(人物中心に歴史を記述するもの)を採用しています。歴史現象の総体を「本紀」(帝王の伝記)、「列伝」(個人の伝記)、「志」(分野別の変遷)、「表」(年表・人名表などに分類して記述し、神武天皇から後小松天皇までの百代の歴史をまとめています。そして、それまでの歴史書と違い「神功皇后を本紀ではなく后妃伝に記して天皇としていない」「大友皇子を本紀に掲げ、天皇としている」「南北朝時代の南朝を正統としている」といった3つの特徴を持っています。「本紀」「列伝」の250巻が完成し幕府に献上されたのは、光圀の死後20年たったからの1720(享保5)年。そして「志」「表」の編さんが終わり全ての完成を見たのは、開始から約250年後となりました。

「大日本史」編さん事業は、日本の歴史を明らかにするだけにとどまらず、思想や学問にも大きな影響を与えています。幕末の政局に大きな影響を与えた「水戸学」も、源流は「大日本史」の編さん過程で生まれたものです。このように、光圀が思い描いた「大日本史」の編さんは、日本の歴史を動かす力となった大きな事業といえるのです。

協力:茨城県立歴史館 徳川ミュージアム



### 幕末の尊王思想に大きな影響を与えた大日本史

光圀が亡くなるまでの約10年間過ごした西山荘は、徳川ミュージアム分館として一般公開されている  
Photo:Kenji Aoyagi



「いばらきの海」 190キロメートルの海岸線を持つ茨城県。美しく変化に富んだ風景を紹介します。

## 神磯の鳥居 大洗町

大洗海岸の岩場に立つ鳥居で、徳川光圀公がこの景観をたたえ、荒磯の 岩に砕けて 散る月を 一つになして 帰る波かなと詠んだといわれています。  
海に映る月と鳥居のシルエットはとも美しい景観ですが、鳥居越しに見る朝日も絶景で、季節で変化する景観は、いつ眺めても飽きません。

歌意 岩に砕けては散る月影、それを再び、一つの月影に戻して引いて行く大なる波よ  
出典 常山詠草







千波湖の夜桜  
水戸市 松葉 修さん

夜桜を楽しみつつ、鳥たちと戯れる家族がほほ笑ましく感じられました。



光に彩られた旧県庁舎

水戸市 松葉 修さん

光に浮かび上がる旧県庁舎は、荘厳な雰囲気を醸し出していました。



花貫溪谷の美

水戸市 内桶三男さん

花貫川に沿っての溪谷は、四季折々変化に富んだ景観が楽しめる散策コースです。

# Photo Gallery

## 読者のフォトギャラリー

### 私の自慢したい茨城のスポット

読者の皆さんが撮影した、美しく多くの人に見てほしい、そんないばらきの魅力を伝える写真を紹介します。



山里の春

水戸市 内桶三男さん

山裾の一軒家と広がる田園。裏山全体に彩る山桜の数々。ここにも山里の風景がある。桜川市磯部にて。

大好きな季節、風薫る筑波山

つくば市 井内弥恵子さん

大好きな季節、大好きな風景。田植えが終わった直後にだけ見られ、すがすがしい風が吹きわたります。つくば市小田地区にて。



朱色の水田

大子町 菊池 孝さん

夕日に映る水田が、パッチワークのように鮮やかでした。ひたちなか市枝川にて。



桜づつみから見た筑波山

筑西市 野島 勇さん

桜づつみから見た筑波山と雲の美しさに、思わずシャッターを押しました。





いばらきの歴史再発見

# 常陸国風土記 ゆかりの地をめぐる 1

常陸国風土記  
1300年  
記念

713年に、元明天皇より日本の各国・諸国に風土記編さんの指示が出されてから、今年で1300年を迎えます。そこで、常陸国風土記に記述された郡(行政区)ごとにゆかりのある地を訪ね、4回にわたって紹介していきます。

## 新治郡

にいほりのこおり  
県西部地域



古代の新治郡は県西部地域、現在の笠間市、桜川市、筑西市周辺にあたります。郡の役所である新治郡衙跡は、筑西市古郡地区にあり、現在は石碑と案内板が立っているのですが、大規模な建物があったことが分かっています。近くには、奈良時代前期に建てられた寺院跡である新治廃寺跡もあり、石碑とともに立つ大きなエノキの周辺には建物の礎石などが残っています。これらのことから、かつてはこの地域が新治郡の中心地だったと考えられています。



新治廃寺跡 にいほりしじあと (筑西市久地楽)  
国道50号わき立つ石碑と、すぐ後ろにある大木の下にも石碑がある。新治郡衙跡の北200~300mの位置にあり、奈良時代前期に建てられた寺院跡。東塔跡・西塔跡・金堂跡・講堂跡などの基壇が残されている



新治郡衙跡 にいほりくんがあと (筑西市古郡)  
周囲を畑に囲まれた中に立つ石碑。石碑周辺では、4群に分かれた建物跡が見つかり、北部群25棟、西部群9棟、東部群13棟、南部群4棟の計51棟が認められている

## 筑波郡

つくはのこおり  
筑波山の南、桜川流域から  
小貝川左岸一帯



現在のつくば市周辺一帯が筑波郡とされており、平沢官衙遺跡が郡の役所跡とされています。遺跡は、広々とした歴史公園として整備され、当時の高床式倉庫が3棟復元されています。これらは税として集めた稲などを取めた倉庫と考えられています。そして、常陸国風土記には、古くから信仰の山であった筑波山に関する記述や歌が多く見られ、郡内にそびえる神の山との深いつながりを感じさせます。筑波山神社とともに必ず訪れてみたい場所といえるでしょう。



筑波山と筑波山神社 (つくば市筑波)  
男体山と女体山の2つの峰を持ち、古くから信仰の山とされ、人々に親まれてきた筑波山と筑波山神社。常陸国風土記はもちろん、万葉集や日本書紀にも記述のある、歴史と神事を感じさせてくれる場所



平沢官衙遺跡 ひらさわかんがいせき (つくば市平沢)  
歴史公園として整備された遺跡には、校倉、土倉、板倉の高床式倉庫が3棟復元されている。発掘調査により、掘立柱建物跡が55棟、礎石建物基壇跡4基、大溝跡や欄列跡が確認されている

## 信太郡

しだのこおり  
霞ヶ浦南岸一帯



霞ヶ浦南岸一帯の地域が信太郡にあたります。塩を作っていたと常陸国風土記に記述のある浮島は、現在の稲敷市浮島。かつては島でしたが、今では干拓が進み陸続きとなっています。稲敷大橋付近の妙岐の鼻と呼ばれる湿原に立てば、当時の島の面影を感じられます。また、東北地方に出兵した黒坂命が葬られたとされる黒坂命の古墳(弁天山古墳)が美浦村にあります。信太郡衙のあった場所についてはいくつかの説がありますが、稲敷市下君山にあったとする説が有力です。



黒坂命の古墳 くらさかのみこのこふん [弁天山古墳] (美浦村大塚)  
東北地方の蝦夷(えみい)の平定についた黒坂命が埋葬されたとされる古墳。黒坂命と信太郡の名の由来について、常陸国風土記逸文に記述がある



浮島 うしじま (稲敷市浮島 妙岐の鼻)  
稲敷大橋付近の妙岐の鼻には、かつて島だった浮島を感じさせてくれる広大な湿原が広がる。現在は、野鳥観察小屋や湿生植物を観察できる木道が整備され散策することができる





# わが街自慢

## かすみがうら市 雪入ふれあいの里公園



レポート  
いばらき女性特派員  
田中裕子  
Photo: Takehiko Maekawa

### 採石場跡地を自然再生した自然との触れ合いの場

バードウォッチングなどの自然観察会を開催し、その様子をブログでレポートしています  
ブログアドレス <http://yukiirinc.blog.fc2.com/>

**雪** 入ふれあいの里公園の中心となるネイチャーセンターでは、展望ロビーやシアターを備え、週末にはバードウォッチング・昆虫採集・おもしろい石を探そうなど、誰でも参加できる自然講座も開催されています。  
ネイチャーセンターを起点に雪入山の自然を体験できるハイキングコースはさまざまなルートがあり、「茨城の森林浴の道100選」に選定されているコースもあります。また森林浴やトレッキングの練習など目的にあわせた楽しみ方ができ、トレイルランニングのコースにも利用されています。



聞こえてくるたくさんの野鳥の声に、バードウォッチャーの聖地というのも納得。次回は双眼鏡を持参して、渡り鳥の姿を楽しみたいと思いました。



公園の中心となるネイチャーセンター



ネイチャーセンター裏の山に登れば採石跡に水がたまった3つの池があり、野鳥やさまざまな生物が集まる絶好の観察ポイントになっています  
山の中腹一帯が公園となっており、景観のよいことでも知られています



住所 / かすみがうら市雪入452-1  
TEL / 0299-59-7000  
開園時間 / 9:00~16:30  
入園料 / 無料  
休園日 / 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始  
<http://www.yukiiri.jp>



フォトいはらきは年4回発行しています。  
次号(秋季号)No.593は9月30日発行予定です。

**県の広報紙へ広告を掲載しませんか!**

フォトいはらきは、県内の公共施設、理美容店、銀行、病院などに置いてあります。  
県では、広報紙「ひばり」、グラフ誌「フォトいはらき」への広告掲載を募集しています。  
詳しくは県広報広聴課 TEL.029-301-2128までお問い合わせください。

フォトいはらき 平成25年6月30日発行 第592号 発行人 茨城県 企画・編集 茨城県広報広聴課 水戸市笠原町978-6 TEL.0299-301-2128 FAX.0299-301-2168 制作 株式会社マガジンハウス